

## 第36回 光市農業委員会総会議事録

1 開催日時 令和2年5月15日（金）午前9時30分から10時00分

2 開催場所 光市役所 大会議室1号

3 出席委員（10人）

農業委員

1番	埤田	定
2番	熊野	茂公
3番	宮内	昭壽
4番	河村	晴夫
6番	田村	尚利
8番	鬼武	敬子
9番	繁本	武紀
10番	藤本	準一
11番	山本	忠男
12番	田村	耕一（会長）

農地利用最適化推進委員 ー

4 欠席委員

農業委員

（2人）

5番	小林	勉
7番	出穂	真奈美

農地利用最適化推進委員（一）

5 議事日程

第1 議事録署名委員の指名

第2 会議書記の指名

議案 第1号 農地法第5条転用許可申請に対する許可決定について

議案 第2号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づく農用地利用集積計画の承認について

議案 第3号 農業振興地域整備計画の変更について

報告 第1号 農地法第5条転用届出に係る局長専決処理について  
報告 第2号 非農地証明について

6 農業委員会事務局職員

事務局長	弘	光宣
農地係長	森重	康男
農政振興係長	松原	耕二

議長

みなさんおはようございます。

只今から第36回農業委員会総会を開会します。

本日の総会にあたり、5番 小林 勉 委員、7番 出穂 真奈美 委員より欠席の連絡がありましたので御報告いたします。

本日出席の農業委員は10名で定足数に達しており、総会は成立しています。次に、光市農業委員会総会会議規則第20条第2項に規定する議事録署名委員ですが、議長から指名させていただくことに御異議ありませんか。

(なしの声)

それでは、本日の議事録署名委員は、6番 田村 尚利 委員、8番 鬼武 敬子 委員、にお願いします。

なお、本日の会議書記には、事務局職員の松原係長を指名いたします。

それでは議事に入りたいと思います。事務局から議案について説明をお願いします。

事務局

それでは、議案第1号「農地法第5条転用許可申請に対する許可決定について」です。

今月の申請は、4件でございます。

それでは、番号1から、ご説明申し上げます。

別紙「位置図」、も議案の説明と併せてご覧いただけたらと思います。

本件は所有権移転による転用許可申請となっております

申請者ですが、譲受人は市内に住む自営業の個人で、譲渡人は防府市に住まいの無職の個人です。

申請のあった土地は、大字三輪地内、市役所大和支所の南、約1.4 kmに位置する1筆で、登記地目は畑、面積は353 m<sup>2</sup>の自作地です。

譲受人は、譲渡人所有の隣接する住宅を購入するのに合わせ当該農地も取得し、経営する建設業のための資材置場並びに車両の駐車場にしようとするものです。

では、農地法に基づく農地転用許可の検討事項についてご説明します。

許可の要件である、立地基準と一般基準について。まず、立地基準です。

それでは「農地の区分」です。

当該用地は、第1種、第3種農地のいずれの要件にも該当しないことから第2種農地と判断いたします。第2種農地は他に代替となる用地がない場合許可するとされております。

ここからは、一般基準です。事業の実施について、その確実性・周辺農地への影響等について審査いたします。

まず、「転用の目的」ですが、資材置場並びに駐車場ということであり、問題ないものと判断します。

次に、「資力及び信用」についてですが、提出されている資金計画書・融資証明等から、問題ないものと判断します。

それから「転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意状況」ですが、農地基本台帳によると貸借等の関係も特になく、これには該当いたしません。

続いて「遅滞なく転用目的に供することの確実性」についてですが、事業計画書等により、問題はないと判断します。

次に「行政庁の免許、許可、認可等の処分見込み」についてですが、該当事項はございません。

次は「一体利用地の利用見込み」についてですが、事業に供されるのは申請地のみなので、これには該当いたしません

さらに「計画面積の妥当性」についてですが、申請に係る農地面積が、事業の目的から見て適正と認められない場合は許可しないことになっていますが、事業計画書等から判断し、適当であると考えます。

続いて「周辺の農地に係る営農条件への支障の有無」についてですが、転用目的が資材置場、駐車場であり、被害防除計画書の内容等からも判断し、近接農地の日照・通風等については問題ないと考えます。

以上、許可に必要な要件はすべて満たしていると判断いたします。

なお、この件につきましては、山本委員に調査をお願いし、特に問題ない旨の回答をいただいております。

説明は以上でございます。

議長

山本委員、補足説明をお願いします。

11 番

補足は特にございません。

議長

これより質疑に入ります。何かございませんか。

(異議なしの声)

ご異議がないようですので採決いたします。

議案第 1 号の番号 1 について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成ですので、議案第 1 号の番号 1 は原案のとおり決定いたしました。

事務局

それでは、つづいて番号 2 についてご説明申し上げます。

本件も所有権移転による転用許可申請となっております

申請者ですが、譲受人は市内に住む会社役員の個人で、譲渡人は当該農地の近くに住まいの無職の個人です。

申請のあった土地は、大字岩田地内、市役所大和支所の北西、約 500m に位置する 2 筆で、登記地目は畑、面積は合わせて 596 m<sup>2</sup>の自作地です。

譲受人は、高齢となり所有する農地の維持管理が困難となり、処分先を探していた譲渡人から当該農地を取得し、新たに開業する保険代理店の店舗兼事務所および来客用駐車場にしようとするものです。

では、農地法に基づく農地転用許可の検討事項についてご説明します。

許可の要件である、立地基準と一般基準について。まず、立地基準です。

それでは「農地の区分」です。

当該用地は、都市計画法にもとづく用途区域に定められていることから第 3 種農地となります。第 3 種農地は原則許可するとされております。

ここからは、一般基準です。事業の実施について、その確実性・周辺農地への影響等について審査いたします。

まず、「転用の目的」ですが、店舗兼事務所および駐車場ということであり、問題ないものと判断します。

次に、「資力及び信用」についてですが、提出されている資金計画書・融資証明等から、問題ないものと判断します。

それから「転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意状況」ですが、農地基本台帳によると貸借等の関係も特になく、これには該当いたしません。

続いて「遅滞なく転用目的に供することの確実性」についてですが、事業計画書等により、問題はないと判断します。

次に「行政庁の免許、許可、認可等の処分見込み」についてですが、該当事項はございません。

次は「一体利用地の利用見込み」についてですが、事業に供されるのは申請地のみなので、これには該当いたしません

さらに「計画面積の妥当性」についてですが、申請に係る農地面積が、事業の目的から見て適正と認められない場合は許可しないことになっていますが、事業計画書等から判断し、適当であると考えます。

続いて「周辺の農地に係る営農条件への支障の有無」についてですが、転用目的が店舗兼事務所および駐車場であり、被害防除計画書の内容等からも判断し、近接農地の日照・通風等については問題ないと考えます。

以上、許可に必要な要件はすべて満たしていると判断いたします。

なお、この件につきましても、熊野委員に調査をお願いし、特に問題ない旨の回答をいただいております。

説明は以上でございます。

議長 熊野委員、補足説明をお願いします。

2 番 特にございません。

議長 これより質疑に入ります。何かございませんか。  
(異議なしの声)

ご異議がないようですので採決いたします。

議案第 1 号の番号 2 について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成ですので、議案第 1 号の番号 2 は原案のとおり決定いたしました。

事務局

つづいて、番号 3 についてご説明申し上げます。

本件も所有権移転による転用許可申請となっております

申請者ですが、譲受人は市内に住む会社役員の個人で、譲渡人は当該農地の近くに住まいの無職の個人です。

申請のあった土地は、大字三輪地内、市役所大和支所の東、約 500m に位置する 1 筆で、登記地目は田、面積は 353 m<sup>2</sup>の自作地です。

譲受人は、高齢となり所有する農地の維持管理が困難となり、処分先を探していた譲渡人から当該農地と隣接する非農地（地目原野）を合わせて取得し、自己用住宅を建築しようとするものです。

では、農地法に基づく農地転用許可の検討事項についてご説明します。

許可の要件である、立地基準と一般基準について。まず、立地基準です。

それでは「農地の区分」です。

当該用地は、10 h a を超える一団の農地内に位置し、第 1 種農地と判断されます。第 1 種農地は原則として許可しないとされておりますが、住宅その他申請に係る土地の周辺において住居する者の日常生活上必要な施設で集落に接続して設置されるものは許可できるとされております。

ここからは、一般基準です。事業の実施について、その確実性・周辺農地への影響等について審査いたします。

まず、「転用の目的」ですが、自己用住宅ということであり、問題ないものと判断します。

次に、「資力及び信用」についてですが、提出されている資金計画書・融資証明等から、問題ないものと判断します。

それから「転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意状況」ですが、農地基本台帳によると貸借等の関係も特になく、これには該当いたしません。

続いて「遅滞なく転用目的に供することの確実性」についてですが、事業計画書等により、問題はないと判断します。

次に「行政庁の免許、許可、認可等の処分見込み」についてですが、

該当事項はございません。

次は「一体利用地の利用見込み」についてですが、隣接する非農地（原野）も同時に取得し一体として事業に供されるので問題ありません。

さらに「計画面積の妥当性」についてですが、申請に係る農地面積が、事業の目的から見て適正と認められない場合は許可しないことになっていますが、事業計画書等から判断し、適当であると考えます。

続いて「周辺の農地に係る営農条件への支障の有無」についてですが、自己用住宅であり、被害防除計画書の内容等からも判断し、近接農地の日照・通風等については問題ないと考えます。

以上、許可に必要な要件はすべて満たしていると判断いたします。

なお、この件につきまして、河村委員に調査をお願いし、特に問題ない旨の回答をいただいております。

説明は以上でございます。

議長 河村委員、補足説明をお願いします。

4 番 補足の説明は特にございません。

議長 これより質疑に入ります。何かございませんか。  
(異議なしの声)

ご異議がないようですので採決いたします。

議案第 1 号の番号 3 について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成ですので、議案第 1 号の番号 3 は原案のとおり決定いたしました。

事務局 続きまして、番号 4 についてご説明申し上げます。

本件も所有権移転による転用許可申請となっております

申請者ですが、譲受人は市内で建設業他を営む法人で、譲渡人は当該農地の近くに住まいの無職の個人です。

申請のあった土地は、大字浅江地内、市役所浅江出張の北、約 2.7 km



に位置する 1 筆で、登記地目は田、面積は 590 m<sup>2</sup>の自作地です。

譲受人は、事業の拡大で申請地の近くに所有する資材機材置場が手狭となったため、高齢となり所有する農地の維持管理が困難となり、処分先を探していた譲渡人から当該農地を取得し、重機等の車両置場にしようとするものです。

では、農地法に基づく農地転用許可の検討事項についてご説明します。

許可の要件である、立地基準と一般基準について。まず、立地基準です。

それでは「農地の区分」です。

当該用地は、周辺に他の農地もなく、第 1 種、第 3 種のいずれの要件にも該当しないことから第 2 種農地となります。第 2 種農地は他に代替となる土地がない場合許可するとされております。

ここからは、一般基準です。事業の実施について、その確実性・周辺農地への影響等について審査いたします。

まず、「転用の目的」ですが、車両置場ということであり、問題ないものと判断します。

次に、「資力及び信用」についてですが、提出されている資金計画書・預金残高証明等から、問題ないものと判断します。

それから「転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意状況」ですが、農地基本台帳によると貸借等の関係も特になく、これには該当いたしません。

続いて「遅滞なく転用目的に供することの確実性」についてですが、事業計画書等により、問題はないと判断します。

次に「行政庁の免許、許可、認可等の処分見込み」についてですが、該当事項はございません。

次は「一体利用地の利用見込み」についてですが、事業に供されるのは申請地のみなので、これには該当いたしません

さらに「計画面積の妥当性」についてですが、申請に係る農地面積が、事業の目的から見て適正と認められない場合は許可しないことになっていますが、事業計画書等から判断し、適当であると考えます。

続いて「周辺の農地に係る営農条件への支障の有無」についてですが、転用目的が駐車場であり、被害防除計画書の内容等からも判断し、近接

農地の日照・通風等については問題ないと考えます。

以上、許可に必要な要件はすべて満たしていると判断いたします。

なお、この件につきまして、田村会長に調査をお願いし、特に問題ない旨の回答をいただいております。

説明は以上でございます。

議長

今、事務局から詳しい説明がありましたとおりで、特に問題ないと考えております。

これより質疑に入ります。何かございませんか。

(異議なしの声)

ご異議がないようですので採決いたします。

議案第 1 号の番号 4 について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成ですので、議案第 1 号の番号 4 は原案のとおり決定いたしました。

事務局

それでは続きまして、議案第 2 号「農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定に基づく農用地利用集積計画の承認について」をご説明します。

光市長から、農用地利用集積計画の決定を求められています。

別紙の農用地利用集積計画書をご覧ください。

新規が 13 件、18 筆で面積は 29,893 m<sup>2</sup>、更新が 2 件、9 筆で面積は 15,282 m<sup>2</sup>、合計は 15 件、27 筆で面積が 45,175 m<sup>2</sup>です。

貸し手、借り手、土地の所在その他、各計画内容につきましては、記載のとおりでございます。

なお、以上の計画内容は、経営面積・従事日数など、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の要件を満たしております。

議長

これより質疑に入ります。何かございませんか。

(異議なしの声)

ご異議がないようですので採決いたします。議案第 2 号について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成ですので、議案第 2 号は原案のとおり決定いたしました。  
それでは報告事項についてお願いします。

事務局

つづきまして、議案第 3 号「農業振興地域整備計画の変更について」です。

これは、農業振興地域の整備に関する法律第 13 条第 1 項の規定に基づき、申請者から、農業振興地域整備計画について変更(除外)の申請が、市に提出されたことに伴い、農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 第 2 項の規定に基づき、市から農業委員会に対して計画の変更について意見を求められているものです。

農業委員会の確認事項は、1、当該農地を計画から除外することで周辺農用地の集団化など、効率的かつ総合的な利用に支障を及ぼすおそれはないか、2、農業水利機能等への支障とならないかです。

それでは、別紙議案 3 号と位置図もご覧ください。

今月の申請は 2 件です。

それでは、番号 1 より参ります。

これは、大字浅江地内において、自己用住宅を建築しようとするで、特段問題もないことから計画変更に意義のない旨回答しようとするものです。

なお、この件につきましては農地利用最適化推進委員の西村委員に調査をお願いし、特に問題ない旨の回答をいただいております。

議長

今、事務局から詳しい説明がありましたとおりで、地区担当委員としては特に問題ないと考えております。

これより質疑に入ります。何かございませんか。

(異議なしの声)

ご異議がないようですので採決いたします。議案第3号番号1号について、異議の無い旨回答することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成ですので、異議の無い旨回答することに決定いたしました。

事務局

それでは、続いて番号2へ参ります。

これは、大字岩田地内において、自己用住宅を建築しようとする計画で、特段問題もないことから計画変更に意義のない旨回答しようとするものです。

なお、この件につきましては熊野委員に調査をお願いし、特に問題ない旨の回答をいただいております。

議長

熊野委員補足説明をお願いします。

2番

今、事務局から詳しい説明がありましたとおり、特に問題ないと考えます。

議長

これより質疑に入ります。何かございませんか。

(異議なしの声)

ご異議がないようですので採決いたします。議案第3号番号2号について、異議の無い旨回答することに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員賛成ですので、異議の無い旨回答することに決定いたしました。

事務局

引き続きまして報告事項1号から2号は一括して説明申し上げます。

報告第1号 「農地法第5条転用届出に係る局長専決処理について」です。

届出の件数は、2件でございました。

内容については記載のとおりでございます。

なお、届出書類は添付書類も含めて完備しておりましたので、事務局長専決により受理いたしました。

つづいて報告第 2 号 非農地証明について、です。

届出の件数は、3 件でございました。

内容については記載のとおりでございます。

地区担当の委員ほか 2 名の委員と、事務局 1 名による現地調査の結果、記載のとおり農地法の適用を受けないものであると認め、証明書を交付しました。

事務局からの説明は以上です。

議長

只今の報告第 1 号、第 2 号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(なしの声)

質問、意見等が無いようでしたら、これらは報告案件でございますので、御了解いただきたいと存じます。

以上で第 3 6 回光市農業委員会総会を閉会いたします。

上記は、令和 2 年 5 月 1 5 日開催の第 3 6 回光市農業委員会総会の議事録である。

令和 2 年      月      日

光市農業委員会      会長 田村 耕一

上記の議事録は、正当と認め署名いたします。

議事録署名人

光市農業委員 \_\_\_\_\_ 印

光市農業委員 \_\_\_\_\_ 印